

## 出題意図

### 【2025 年度入試 政治・経済 A日程 1日目】

#### 【1】

世界の政治体制について、基本的な事項の認識を問う出題である。議院内閣制、大統領制だけでなく、社会主義国やアジア諸国の政治体制についても、それぞれのありよう、また、歴史的な経緯などを的確に把握しているかどうかを問うた。

#### 【2】

いわゆる法の下の平等に関する基本的な事柄を理解しているかを問う出題である。時事問題としても話題となる、女性差別や民族差別等の具体的な事柄について日頃から問題意識を持ち、それを学んだことと結びつけられるかを問うている。

#### 【3】

本問は、市場の失敗の概念とその要因（独占・公共財・外部性）を正確に理解しているかを確認することを意図とした出題である。均衡価格や寡占などの基本用語、さらにアダム・スミスの「見えざる手」や独占禁止法の意義を問うことを通じて、市場と政府の役割を総合的に把握しているかを確認する問であった。

#### 【4】

日本の財政政策のうち、特に国債の取り扱いに関する特徴やその背景にある問題点、そして直接税と間接税の基本的な相違点について問うた。受験生が財政政策の仕組みや税制の構造を深く把握し、特徴・問題点・相違点を論理的に整理して考察する能力を有しているかどうかを評価することを意図した出題である。

## 出題意図

### 【2025 年度入試 政治・経済 A日程 2日目】

#### 【1】

第二次世界大戦後の国際紛争や核軍縮について、基本的な事項の認識を問う出題である。国際紛争の経過、また、核軍縮に向けての具体的な動向ないし取組みなどを的確に把握しているかどうかを問うた。

#### 【2】

国会に関する事柄について、基本的な理解を問う出題である。選挙権年齢が引き下げられたことも踏まえ、国会議員に関する事柄について特に焦点を当て出題をしている。

#### 【3】

本問は、地球温暖化の原因である温室効果ガスや国際的枠組み（気候変動枠組条約・京都議定書・パリ協定）の内容を正確に理解しているかを確認する問である。加えて、地球温暖化対策の仕組みと意義を総合的に把握しているかについて、規制的手法と排出量取引・環境税などの経済的手法との違いを問うた。

#### 【4】

経済成長と有効需要の関係、景気循環について、主循環の基本的な局面転換の仕組み、「景気の波」の種類と特徴について問うた。受験生が、資本主義社会における経済成長を規定する諸要因、景気変動の現れ方の種類とそれぞれの特徴を整理して把握する能力を有しているかどうかを評価することを意図した出題である。

## 出題意図

### 【2025 年度入試 政治・経済 B日程】

#### 【1】

国際社会における近年の地域紛争やこれによる難民問題について、基本的な事項の認識を問う出題である。とくに中東のパレスチナ問題をめぐっての具体的な動向や、難民問題への取組みなどを的確に把握しているかどうかを問うた。

#### 【2】

表現の自由について、基本的な事柄を理解しているかを問う出題となっている。特にインターネットにおける表現の自由に焦点を当てつつ、災害時の SNS との向き合い方という問題にも表現の自由が関係することを理解しているかを問うている。

#### 【3】

本問は、国際経済とファイナンスに対する基本的な理解を問うものであった。国際通貨基金の役割や南北問題の背景、モノカルチャー経済の特徴など国際経済の基礎、そして日本銀行の機能や金融政策の仕組みを問った。さらに、中国の一带一路構想など現代の国際経済動向を総合的に把握しているかどうかの問もあった。

#### 【4】

戦後の先進資本主義諸国の成長政策と成長の在り方の推移について問う問題である。併せて低成長期の雇用の不安定化、貧困・格差拡大についても問うた。受験生が、資本主義の歴史的変遷の要因や各段階での成長メカニズムの基本的な特徴を、また日本の低成長期に生じた諸問題について、どの程度理解しているかを評価することを意図した出題である。